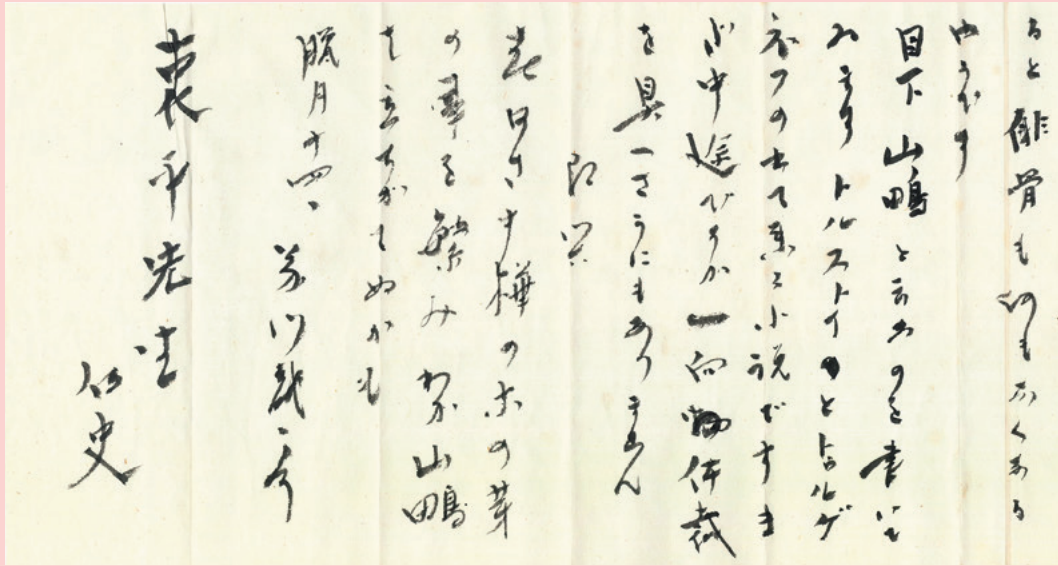


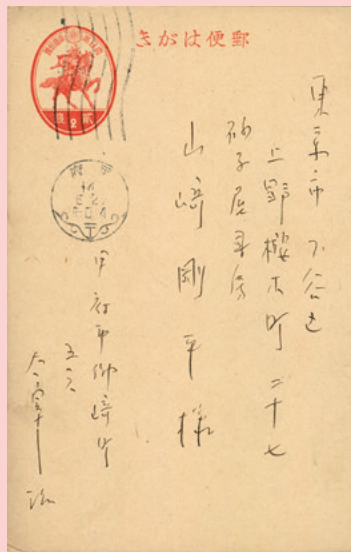
新収蔵品展

観覧
無料

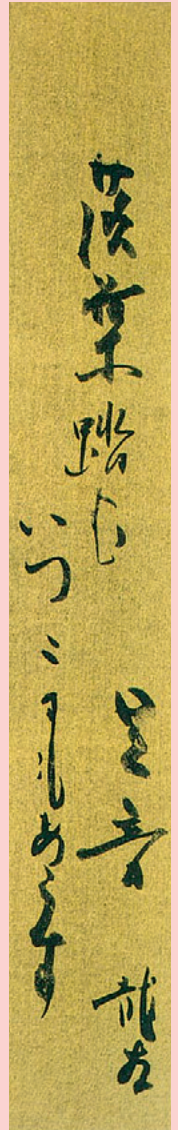
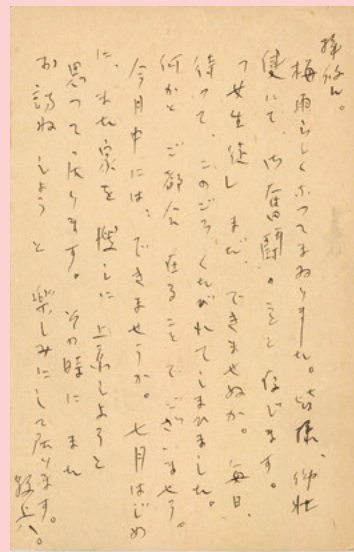
芥川龍之介・木々高太郎・熊王徳平・太宰治・伊藤左千夫・
柳原白蓮・山崎方代・飯田蛇笏・飯田龍太・福田甲子雄 ほか



1



3



2

2024年

1月27日(土) → 3月24日(日)

休館日|月曜日(2月12日は開館)、2月13日(火)

1 芥川龍之介 小澤碧童(へきどう)宛書簡 1920(大正9)年12月14日
写真は末尾部分。小説「山鳴」の執筆が進まないことを述べ、山鳴を読み込んだ短歌を記して結んでいる。

2 飯田龍太「落葉踏む足音いつこにもあらず」短冊(寄託)
1965(昭和40)年10月に亡くなった母菊乃を悼む一句。句集「忘音」所収。

3 太宰治 山崎剛平宛葉書 1939(昭和14)年6月27日消印
作品集「女生徒」の刊行の様子を出版社の砂子屋書房の山崎に尋ねている。
当時太宰は、甲府市御崎町で新婚生活を送っていた。

そのことばのつづきへ



山梨県立文学館

Yamanashi Prefectural Museum of Literature

「冬の常設展示・期間限定公開」

令和5年12月5日(火)～令和6年3月3日(日)
2階 展示室A(常設展示室)

期間限定公開I「作家の肖像 芥川龍之介」

旧制第一高等学校時代、若き日の芥川の肖像写真を直筆資料と共に展示。

芥川龍之介「富士山」原稿
(期間限定公開II(後期)で展示)

期間限定公開II「富士山点描」

「富士山の日」(2月23日)にちなみ、芥川龍之介、太宰治、草野心平らの富士山を主題とした資料を展示。



〈前期〉

12月5日(火)～1月26日(金)

〈後期〉

1月27日(土)～3月3日(日)

閲覧室資料紹介

「教科書に載った文芸作品」 **入場無料**
1月30日(火)～4月5日(金) 1階 閲覧室

小中高校の「教科書」に掲載された文芸作品を、作者のエピソードとともに紹介します。



山梨県立文学館は開館35周年を迎えます

Exhibition Schedule

開館35周年記念 特設展

「中村星湖展 生誕140年 歿後50年」
4月27日(土)～6月23日(日)

明治40年、自然主義文学の隆盛期に小説「少年行」で文壇に登場した中村星湖(1884～1974 山梨県富士河口湖町生まれ)の生涯と作品を取り上げます。小説だけでなく、フローベル、モーパッサンの翻訳、さらに民衆芸術、農民文学運動に関わる評論活動など、多彩な業績を紹介します。



「文学はおいしい」

7月13日(土)～8月25日(日)

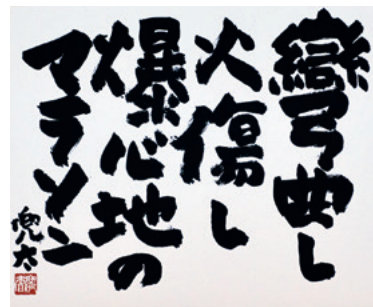
文学作品には、食の場面が多く登場します。作家たちの食へのこだわりを探ると、好き嫌いがあつたり、忘れられない思い出の食べ物があつたり……。料理本を手がける作家も意外に多いのです。芥川龍之介と甲州葡萄、太宰治と甲府の豆腐屋さん……。文学のおいしいシーンを紹介します。

開館35周年記念 企画展

「金子兜太展」

9月14日(土)～11月24日(日)

金子兜太(1919～2018 埼玉県小川町生まれ)は、太平洋戦争での従軍体験を経て、戦後の社会性俳句、前衛俳句運動を担う若手俳人として注目を集めました。以後、昭和・平成の俳壇に大きな足跡を残し、歿後5年を経た今も影響力を与え続けています。代表作「曼珠沙華どれも腹出し秩父の子」「彎曲し火傷し爆心地のマラソン」をはじめとする作品、飯田龍太ら同時代の俳人や文学者との交流、俳人の枠をこえた幅広い活動の様子を取り上げます。



【利用のご案内】

開館時間 展示室 午前9時～午後5時(入室は午後4時30分まで)

閲覧室 午前9時～午後7時(土日、祝日は午後6時まで)

休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日(日曜日の場合は開館)、年末年始、その他臨時開館・休館あり。

【観覧料】

新収蔵品展は観覧無料

	常設展	
	個人	団体(20名以上)
一般	330円	260円
大学生	220円	170円

※県内宿泊者割引は団体割引料金を適用

※高校生以下の児童・生徒は無料(高校生は生徒手帳持参)

※65歳以上の方は無料(健康保険証等持参)

※障害者手帳をご持参の方、およびその介護をされる方は無料

※特設展は常設展観覧料で御覧いただけます。企画展は別途、観覧料をいただきます。

【交通のご案内】

●JR中央線甲府駅より

甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より御勅使(みだい)・竜王駅経由敷島営業所・大草経由韮崎駅・真川(くがわ)団地各行きバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。

※甲府駅からのバスの時刻表は(山梨交通HP)よりお調べいただけます。タクシーで約15分

●中央自動車道甲府昭和インターチェンジより約10分

料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て200m先を左折、西条北交差点を左折、アルプス通りを約2km直進、真川交番前交差点を左折、国道52号を約1km、左側。



X (i)B(T)witter
@bungakukan_ymns

Instagram
@yamanashi_art_literature_park



山梨県立文学館
ホームページ

そのことばのつづきへ



山梨県立文学館

Yamanashi Prefectural Museum of Literature